



2022 OCTOBER
255円
本体
10%税込280.50円

ステーション10 co·op

創刊34周年記念号
増ページ保存版

エレガントなフレンチ、
楽しいイタリアン、
刺激的なチャイニーズ。
美しい和食や、
パワフルな洋食など、
おいしいランチの幸せ時間、
盛りだくさんにお届けします！

わたしの町で、 ラ・幸・せ・チ

特集



神戸・平野に、
「みなとやま水族館」誕生！

「和食や芦田」の、芦田武さんの、
実りの秋の、ごはんレシピ！
枝元なほみさんの、思いやりごはん

ご意見・ご感想と定期購読のお問い合わせは——
編集室直通ダイヤル ☎ 078-842-3636
受付●10:00~17:00(土・日・祝を除く)

ホームページ <https://station.kobe.coop/>



美しい海へ、湖へ、山へ！
秋の絶景ドライブと、
道の駅のお楽しみ！

岡山・牛窓

滋賀・琵琶湖

福井・三方五湖

和歌山・龍神

秋の旅！

特集

女性の、クリニック

第33回

乳がん

10月はピンクリボンをシンボルとする乳がん検診月間です。

乳がんは年々増え続け、治癒につながる早期発見も、ますます大切になっています。専門医の先生に改めて乳がんについて、教えていただきました。

取材・文／杉野佐恵子 撮影／外賀嘉起 イラスト／有村綾



大阪ブレストクリニック
(大阪市福島区)

箕畑順也(みのはた・じゅんや)先生

滋賀医科大学卒業。兵庫県立がんセンター、製鉄記念広畠病院、淀川クリスチ教病院などを経て2022年から現職。「当院では年間800件近く、全国で4番目に多い件数の乳がん手術を行っています。豊富な専門医が多数所属しており、相談しながら治療に当たることが、患者さんにとって大きなメリットとなっています」

「友人に乳がんが見つかり、改めて早期発見の大切さを実感。コロナ禍で母が検診を控えているのも心配です」

乳がんってどんな病気?

日本国内で1年間に新たに乳がんと診断される患者数は9万3858人(2018年)、死病者数は1万4839人(2019年)です。女性で最も多いのが乳がんです。

乳がんの種類や、
なりやすい人、
症状なども教えて。

乳がんは乳腺内の乳管の中の細胞ががん化、増殖する疾患です。組織学的にいくつかの種類に分類されますが、それよりも知つておいていたいのが、がんの性格によって分けられたサブタイプ分類です。「ホルモン感受性の有無」「HER2たんぱく発現状況」「がん細胞の増殖能」などによつて分類します。がんの進行度とこのサブタイプ分類から適切な治療方針を選択することができます。

日本人の女性の9人に1人が乳がんに一度は罹患するといわれていますので、すべての女性は乳がんになりやすいと考えた方がよいでしょう。初経が早い方や出産経験のない方などは乳がんになりやすいといわれていますが、そうでない方が乳がんになりますが、そういわけではありません。誰が

なつてもおかしくないのだとしっかり認識しておいてください。

一方、お酒をたくさん飲む方、タバコを吸う方、太っておられる方など、より高いリスクをお持ちの方は、生活習慣を改めることが重要です。

もつとも注意しないといけない自覚症状は乳房のしこりです。時々自分で乳房を触つてしまつて気がついた時は、病院を受診しましよう。また、乳房の痛みは女性ホルモンの影響によるものでがんとは関係が少ない症状なのであわてる必要はありません。

早期発見のために、
行うべきことは?

月に1回
チェック



乳がんを早く見つけるには定期的に検診を受けることが大切です。公的な検診ではマンモグラフィが行われますが、乳腺エコーを併用した方がよい場合もあります。症状が全くない乳がんも非常に多いため最も2年に1度検診を受けることが大切です。

乳房の変化に気づけるように自己触診を習慣化させることも大切です。複雑な方

法にこだわる必要はありません。難しく考えずに乳房全体をなでるように触ってみましょう。継続できる簡単な方法でよいと思います。月に一度自分の乳房を確認して、しきりに気がついたらすぐに専門医を受診しましょう。

検査法や治療法は?

乳がんの診断は、まずマンモグラフィやエコー検査を行いがんの疑いがある病変が見つかった場合には針を刺して細胞や組織を採取する検査を行つて確定診断を行います。

次にCTやMRIなどを用いて腫瘍の大きさ、リンパ節やほかの臓器に転移があるかどうかを確認し進行度(病期、ステージ)を診断します。また、組織診断から乳がんのサブタイプの診断も行います。これら的情報をもとに温存手術か全摘か、適切な薬物療法の種類や術前に化学療法を行うかどうかなどの治療方針を決定します。

気になる乳房の再建。 今はどうの程度まで 進んでいるの?

乳房再建は人工物を使用する方法と患者さん自身の組織を使用する自家組織再建がありますが、人工物を使用する方法が多く行われています。また、乳がん切除と

同時に手術と後日改めて乳房再建を行う方法があります。

発症や再発を 予防するためにふだんから 気をつけるべきことは?

まず、完全な予防法はないということを理解することが大切です。定期的な乳がん検診は必ず受けしてください。

また、遺伝性乳がんと診断された場合には、血縁の方に遺伝していないかを確認することも大切です。遺伝については正しく理解すること自体が難しいものですから十分な時間をかけて遺伝カウンセリングを行っています。これまでに乳がんの治療を受けられた方でも心配な方は主治医に相談してみられるといいでしよう。

また、もともと最も予後が悪かつたHER2陽性タイプの乳がんが、抗HER2薬の進歩によって今は治りやすいがんになっています。トリプルネガティブタイプの乳がんに対する抗がん剤治療も進歩しています。それぞれの病態に応じて最適化された治療が行えるようになっており必要な方には強力な治療を、必要なない方には過剰な治療を行わないような個別化治療が進んでいます。

乳房再建は通常の日常生活には影響はありませんがスポーツや将来妊娠出産を考えられている方には注意が必要です。乳がんの進行度や年齢、基礎疾患などによって再建手術をお勧めできない場合もあります。当院では全摘が必要で乳房再建が可能な状態の患者さんの半数近くの方が乳房再建を受けておられます。

自家組織再建では仕上がりはより自然な状態になりますが腹部や背中の組織を使用するため健康な個所に傷をつけることになり身体への負担が大きくなります。回復すれば通常の日常生活には影響はありませんがスポーツや将来妊娠出産を考えられる方や若くして発症されている方などリスクが高いと考えられる方には遺伝性乳がんの遺伝子検査が健康保険の適用で行えるようになりました。遺伝性乳がんと診断された場合には適切な術式の選択や通常に比べて術後の経過観察がいつそう必要になります。病院の施設基準によってはこの遺伝子検査に対応できない場合もありますので医師に確認することが大切です。

また、遺伝性乳がんと診断された場合には、血縁の方に遺伝していないかを確認することも大切です。遺伝については正しく理解すること自体が難しいものですから十分な時間をかけて遺伝カウンセリングを行っています。これまでに乳がんの治療を受けられた方でも心配な方は主治医に相談してみられるといいでしよう。

「乳がんは早期発見できれば治る病気です。 自己触診と定期検診は常に心がけましょう」

かつてはすべての乳がんに対してわきの下のリンパ節を切除する腋窩リンパ節郭清が行われていましたが、センチネル

人工物を使用する乳房再建は2013年に保険適用となって以来普及が進んでいます。乳がんの切除と同時に後日改めて乳房再建を行います。

